

介護老人保健施設ライフサポートねりま

症例概要 利用者：50代 女性 要介護2
病名：くも膜下出血、高次脳機能障害
利用サービス：入所
経過：令和4年3月から有料老人ホームより3度目の入所。

内 容

歩行は自立レベルだが短期記憶障害が重度で、作話を言ってしまうたり、自身を施設職員と思い込んだ問題行動を繰り返していた。

今回3度目の入所で、入所時は有料老人ホームとのリポート検討であったが、症状が徐々に改善されてきていることから、一番最初の入所でご希望されていた職場復帰を目標とした。

自身で1日のスケジュールを立てて計画通りに過ごしていただいた他、物を作成する、読書をするなど身体のリハビリだけでなく、実際職場に復帰したことを想定した取り組みを行っていった。

初めは作話も多く、スケジュール管理が行えないなど見受けられたが、徐々に改善し、集中して作業を行えるようになっていった。

入社した際に必要になってくるメイクや仕事着への着替えも平日は毎日行うようにした。

ご本人は大手化粧品会社の調香師をしていたため、メイクに関する知識が豊富で、化粧品を購入しに出かけた際はスタッフに成分などを詳しく説明していた。

産業医との面談を繰り返し、元の職場へ復帰できる事となり研究所近くの有料老人ホームへ退所された。

先日外来受診に訪れた際には、職場での状況や施設での生活を楽しそうに話されており、ご家族も復職できたことを大変喜ばれて施設職員へ感謝されていた。

利用者さんにご家族の最終目標までのサポートをし、職場復帰という今後の暮らしを支援できた症例。